

# 3月例会『すれ違いのダイアリーズ』

## 映画に関するエッセイ「私の映画KAN」始まりました

### 私の映画KAN

「この世界の片隅に」 山本芳明

妻が原作を読んでいましたので、姫路に夫婦で観に行きました。

実は、私は1960年代(小学生) ”戦記もの”が好きで、コミックから出版部、TVまで見漁り、邦画・洋画を問わず連れて行ってもらいました。当時の戦争映画は、スポーツを見ているような明るさで表現されていたと思います。

それから現在まで戦争映画を見てきましたが、庶民の目線で描かれる戦争映画の数少ない中で、主人公”すず”を通して、日常が壊れてゆく様子は、「怖い」ところです。

軍港の町「呉」を、「広島」を米軍機が襲いかかる所は迫力をも感じました。

”すず”の声を担当している女優の「のん」さんが、あまりにもびったりなのでびっくりしました。「この世界の片隅に」 良い映画でした。

■題名/この世界の片隅に

■監督/片淵須直、■原作/こうの史代、■脚本/片淵須直、

■キャスト(声の出演)/のん[北條(浦野)すず]、細谷佳正

[北條周作]、尾身美詞[黒村徑子]、稲葉菜月[黒村晴美]、

牛山茂[北條円太郎]

■2016年、日本、126分、アニメーション、ヒューマン、戦争、  
第13回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞受賞

### 例会のお知らせ

■名称/第89回例会『すれ違いのダイアリーズ』

■日時/2017年3月14日(火) ①PM2:00~、

②PM4:20~、③PM6:40~

■場所/加古川総合文化センター大会議室(JR東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北東へ600m)

■受付/入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

■タイトル/すれ違いのダイアリーズ

■監督/ニティワット・タラートーン



■出演/スクリット・ウィセートケーオ、ライラ・ブンヤサク、スコラワット・カナロット

■データ/2014年、タイ、1時間50分

■ジャンル/ヒューマンドラマ

美しい自然のなかで展開される青年教師の奮闘ドラマ

■ストーリー/ ソーンはいい奴けどかなり情けないお気楽男子。恋人に定職を持つように叱られて、仕方なく仕事探しを始めたものの、ようやく見つけた仕事は、電気なし・水道なし・携帯電話もつながらない僻地の水上学校の先生だった……。赴任したものの、スポーツしか自信がないソーンは毎日失敗ばかり。ある日、前任の女性教師エーンの日記を見つける。そこには、自分と同じように僻地の学校で寂しさを感じ、子供達の教育や恋人との関係に悩む、エーンの正直な心の中が書かれていた。その悩みに共感したり、ある時は教え方を学んだりするうちに、ソーンは会ったこともない彼女に恋してしまう。はたして——。(公式ホームページから抜粋)

## 定例総会開催のお知らせ

加古川シネマクラブでは、2017年度の定例総会を下記のとおり開催いたします。1年間の基本活動を決定する会議ですので、会員の皆さまには、ご出席いただきますようお願いいたします。

### 記

- 1 名称 2017年度加古川シネマクラブ定例総会
- 2 日時 4月20日(木)午後7時から(約1時間)
- 3 場所 加古川総合文化センター 会議室2
- 4 内容

- (1)2016年度事業報告に関する事
- (2)2016年度決算に関する事
- (3)2017年度役員を選任に関する事
- (4)2017年度事業計画に関する事

①例会及び特別例会、②明石シネマクラブとの例会参加相互協力の試行継続、③その他の主催事業、共催・協力事業、会議など

- (5)2017年度予算に関する事

- 5 議案 現在準備中です。事前に確認できるよう4月6日頃から20日まで加古川シネマクラブのホームページ上に掲載します。

- 6 参加方法 直接会場にお集まりください。

- 7 その他 当日に出席できない方は、委任状(書面であれば形式を問いません)を提出することによって、出席する会員に議決等を委任することができます。

## 前回例会の報告

1月27日の例会では、**モーガン・フリーマン、ダイアン・キートン**のダブル主演の秀作『**ニューヨーク眺めのいい部屋売ります**』を鑑賞しました。

参加会員82人、明石シネマクラブからの参加者5人で合計87人の参加者でした。

## 明石シネマクラブ例会情報

■名称／『**黄金のアデーレ**』(2015年、アメリカ・イギリス合作、109分)

■解説／**グスタフ・クリムト**が描いた世界的名画「黄金のアデーレ」をめぐる実際に起こった裁判と「黄金のアデーレ」に秘められた数奇な物語を、アカデミー賞女優**ヘレン・ミレン**主演で描いた。アメリカに住む82歳の**マリア・アルトマン**がオーストリア政府を相手に裁判を起こした。世界中を驚かせたその裁判は、**クリムト**が描いた**マリア**の叔母**アデーレ**の肖像画「黄金のアデーレ」の返還要求だった。ナチス統治下のオーストリアで、ナチスによって奪われた

その名画には、**マリア**自身と彼女を取り巻く人々のさまざまな記憶が詰まっていた。

■監督／**サイモン・カーティス**

■出演／**マリア・アルトマン**、**ランドル・シェンベルク**

■日時／4月13日

(木) ①PM2:00-、②PM4:30-、③PM7:00-

■場所／**アスピア明石9階子午線ホール**(JR明石駅東徒歩5分)

■目的・内容／加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。

■受付／会場受付で、①加古川シネマクラブの会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662

## ホームページのアドレスの変更について(再掲)

加古川シネマクラブのホームページは、ニフティのホームページを使用していましたが、ニフティのホームページサービスが廃止になってしまいました。

つきましては、新たに、下記のアドレスにホームページを移行しましたのでご案内いたします。

廃止に気づかず、また、移行に手間がかかり、約3週間、アクセスできない状態になっていました。移行期間中にアクセスした会員の皆様には、ご心配ご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

<http://kagogawacinemaclub.c.ooco.jp/>

## ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200-300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

**加古川シネマクラブ** 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL [cinemaclub@nifty.com](mailto:cinemaclub@nifty.com)

<http://kagogawacinemaclub.c.ooco.jp/>

会員数136人(1月27日現在)

